

幼児の実態	<p>子どもたちは、幼稚園での生活に慣れ、安心して園生活を楽しむようになってきている。園内の様々な遊具や素材、道具に興味をもち、年上の友達が遊ぶ様子を見たり、教師と一緒に自分もしてみたりして、自分の好きな遊びを見つけてのびのびと遊ぶ姿が見られる。友達にも関心をもち、自ら関わりをもとうとする姿が見られる。しかし、友達とのかかわりの中で、うまくいかないこともあり、教師に互いの気持ちを代弁してもらったり、必要な言葉を教えてもらったりしながら、友達とのかかわりを広げ深めているところである。</p> <p>室内では、主に製作遊び、ソフト積み木遊び、ごっこ遊びを楽しんでいる。園庭では、体を動かしたり、固定遊具で遊んだり、砂遊び、ごっこ遊び、自然や動物との触れ合いを楽しんでいる。</p> <p>「～したい」という思いを膨らませ、友達とのかかわりを楽しみ、友達と一緒に過ごすことよきさや楽しさを感じるようになってきている子どもたちである。</p>	遊びの価値とねらい	<p>製作遊び・砂や水を使った遊びは、自分のイメージを形にすることができる遊びである。出来上がった喜びを感じながら、友達とイメージを共有して遊ぶ楽しさを味わうことができる遊びとして大切にしたい。ごっこ遊びは、同じ場を共有していることで友達のよさや一緒にいる楽しさを感じることでできる遊びとして大切にしたい。固定遊具遊びでは、友達の姿を見たり、互いに励まし合ったりしながら挑戦したり、できた喜びを感じることでできる遊びとして大切にしたい。</p> <p>これらの遊びを通して、友達と遊びを共有することよきさや楽しさを感じたり、友達と一緒に遊ぶ中でうまく伝わらないもどかしさを感じたりしながら、自分と友達の違いを知り、友達と一緒に遊びを進める中で自分の気持ちを調整していくきっかけとなるのではないだろうか。</p>	この期の保育について	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 好きな遊びを見つけて楽しむ中で、友達や先生とのかかわりを楽しむ。 身近な自然に触れて楽しく遊んだり、自然物を遊びに使ったりする。
	【協同性の育ち】		安心して園生活を送り、自分のやりたい遊びを見つけ楽しむ中で、周りの環境や友達とのかかわりを楽しむ姿。			
	内容		<ul style="list-style-type: none"> いろいろな遊びに興味をもち、同じ遊びが好きな友達とかわることを楽しむ。 家族やテレビ、絵本などの登場人物になりきってごっこ遊びを楽しむ。 遊びの中で、先生や友達に自分の思いを伝えようとする。 素材や遊具に親しみながら、自分なりのイメージを表現しようとする。 身の回りの自然に興味をもち、落ち葉や木の実などを見つけて遊ぶ。 身の回りのことや生活に必要なことをできるだけ自分でしようとする。 			

本日の保育について	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。 遊びのイメージや見つけたものを友達や教師に知らせようとする。 いろいろな遊びに興味をもち、身の回りの素材や遊具、自然に親しみをもつ。 	保育に当たって	<ul style="list-style-type: none"> 一緒に遊んでいる友達に自分の思いや感じたことが伝わるように、会話をつないだり、言葉を補ったりして、楽しい雰囲気をつくるようにする。 仲間となって遊びに加わり、見つけたもの、つくったものを見せたいと思う気持ちを受け止める。 友達の遊びにも関心が持てるように、遊びを知らせる。 身の回りの始末や道具の後片付けを自分でしようとする姿を認めながら、必要に応じて手伝ったり、励ましたりする。 好きな遊びを楽しむことができるように、必要な材料の準備や園庭の安全確認などを行う。 道具を正しく安全に使ったり、交代で使ったりできるように、必要に応じて言葉かけをする。
-----------	-----	--	---------	--

予想される子どもの遊び

	体を動かして遊ぶ 【園庭・プレイルーム】	砂や水を使って遊ぶ 【砂場・園庭】	ごっこ遊び 【保育室・プレイルーム・園庭】	自然に親しむ 【園庭・保育室】	製作遊び 【保育室・プレイルーム】	年上の友達と遊ぶ 【プレイルーム・園庭】	列車遊び 【保育室・プレイルーム・砂場】
今までの遊びの流れ	固定遊具では、教師にできるようになったことを見せたり、教師が見守る中で、難しいことに挑戦しようとしたりする姿が見られる。また、友達がしているのを見て、やってみようとして挑戦したり、友達同士でぶらんこを押してあげたりする姿も見られる。	穴を掘ったり、山やトンネルをつくったり、掘った穴に水を流して船を浮かべたりして遊んでいる。また、二輪車に砂を入れて運んだり、型抜きしたものや砂に水を混ぜたものをごちそうに見立てて木の実や落ち葉で飾り付けをして、ごっこ遊びに使ったりする姿も見られる。	好きな衣装を身に着けて、家族ごっこやお医者さんごっこ、アイドルごっこをしたり、自分でつくった剣やベルトなどの武器を身に着けて、ヒーローごっこをして遊んでいる。また、お店屋さんごっこで、自分の作ったものを売ろうとする姿も見られる。	落ち葉や木の実を拾って集めることを楽しんでおり、袋に集めたり、落ち葉の花束をつくったりしている。さらに、拾ったものをごっこ遊びで料理の材料に使ったり、製作遊びで使ったりする姿も見られる。また、自分たちが植えた花や野菜の生長を楽しみにしている。	好きな材料を選びマイクや剣などの自分のイメージするものをつくったり、友達と一緒に粘土で遊んだり、塗り絵や絵を描いたりする姿が見られる。自分ではうまくできない部分は、教師に手伝ってもらいながら、自分のイメージするものをつくり出そうとしている。	年上の友達がひらいているお店屋さんやコンサート、電車ごっこにお客さんとして招待され、参加することを楽しみにしている。また、年上の友達の真似をして、チケットや切符、段ボールの列車を自分たちでつくったり、お店屋さんをひらいたりする姿が見られる。	ソフト積み木や牛乳パックを組み合わせて列車をつくり、友達と一緒に走らせて遊んだり、段ボールで作った列車に乗って、一人で運転したり、友達や教師を乗せて遊ぶ姿が見られる。また、砂場の枠や地面に書いた線路の上で列車を走らせる姿も見られる。
本日の子どもの遊び	<ul style="list-style-type: none"> ぶらんこや綱ぶらんこに乗って遊ぶ。 築山に登ったり降りたりして遊ぶ。 年上の友達の遊びに加わり、ボール遊びや追いかけっこをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 砂の山やトンネルをつくったり穴を掘ったりする。 二輪車に砂を入れて園庭を移動する。 砂を皿に盛って料理をつくり、つくったものを並べてごっこ遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣装を身に着けて、自分の好きな役になりきって遊ぶ。 ヒーローになりきって、駆け回ったり、たたかいごっこをして遊ぶ。 しっぽや髪飾りなどの装飾品や武器、お医者さんの薬などの小道具などをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 木の実や落ち葉を拾って集めたり、製作遊びやごっこ遊びに使ったりする。 見つけたものを友達と見せ合ったり、教師に見せたりする。 花や野菜の生長の様子を見たり、水をあげたり、草をとったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き箱を組み合わせて、自分のイメージするものをつくる。 自分の好きなぬり絵を選んで、色を塗る。自分の好きな絵を描く。 粘土を使って自分のイメージしたものをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> お店屋さんに行き買い物をする。 コンサートを見に行き、ダンスを見たり、一緒に歌ったりする。 年上の友達が運転する列車に乗り、目的地まで行く。 チケットやお金などをつくり、遊びに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ソフト積み木や牛乳パックを自分のイメージした形に組み合わせて列車をつくる。 つくったものを友達と並べて走らせる。 列車や船を走らせて遊ぶ。
教師の援助	<ul style="list-style-type: none"> 教師も遊びに加わりながら、体を動かして遊ぶ楽しさやできるようになった喜びに共感する。 遊具の安全な使い方や並んで順番を待ったり、交代で使ったりすることなど遊ぶ時のルールについて機会をとらえて話をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 砂や水の感触を十分に楽しみながら、つくりたいものをつくって楽しむ姿や子どもたちのイメージに共感し、教師も遊びに加わる。 遊びの中で、ものの取り合いなどがあった場合には、互いの話を聞き、それぞれの思いが伝わるように話をしながら、必要な言葉を伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがなりきって遊ぶ姿を見守りながら、教師も遊びに加わり、それぞれの子どもがもつイメージを周りに知らせることで、イメージを共有しやすくする。 遊びの中で、自分の思いを通して、自分の思いを通して、言葉で補ったり、気持ちを代弁して、友達の気持ちに気づくことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然物を集める姿を見守り、見つけた喜びに共感する。 葉の色の変化や葉の様々な色や形に気付く姿を認め、周りの友達にも気付きを知らせていく。 自分たちで育てている植物を大切にしようとする姿に共感しながら、生長を楽しみにできる言葉かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のつくりたいもののイメージを伝えようとする姿を受け止め、難しいところは教師が手伝い、つくり上げた喜びを共に味わうようにする。 自分の好きなものをつくって楽しめるように、使いやすい場所に素材や用具を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師もお客さんとして遊びに加わり、必要に応じて、子どもだけで伝えられていない思いを代わりに伝えたりする。 自分の遊びだけでなく、年上の友達の遊びにも興味・関心が向くように、お店屋さん、コンサートが開かれることを子ども達に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達とイメージを共有して遊ぶ楽しさをより感じるができるように、子どものもつイメージを周りに知らせる。 材料や道具を友達と一緒に使うために、必要な言葉を伝えて、譲り合って使うための声かけをする。

